



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第43号
令和5年1月11日
人権フォーラム還流報告

四気＝川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」

学校教育目標 『自立した生徒の育成 -自律・調和・創造-』のもと

- ・自分を大切にすること
- ・他者を大切にすること
- ・粘り強くやり切る
- ・人を大切にすること
- ・安全で安心できる
- ・地域や保護者とともにある

生徒

学校 づくりを目指します

【 令和4年度「子ども人権フォーラム21」に参加した4名のみなさんからの還流報告 】

この人権フォーラムを通じて私は、人権に対する見方・考え方が少し変わりました。まだまだ社会では人権に関する問題が山ほどあります。今回で話し合ったことも、その一部です。一人一人が意識していくべきことですが、まずは私たちからと思い、学校生活の中では、「平等に」ということを意識しながら生活しています。2学期は人権学習も行い、人権に対する考えが深まったと思う。 「伊藤 瑞姫 さん」の感想を一部抜粋



12月23日(金)第2学期終業式の前に、オンラインにて、「三重郡子ども人権フォーラム21」に参加しての還流報告を行いました。この取り組みは、三重郡内の川越中学校・朝日中学校・菰野中学校に通う子どもたちが出会い、様々な人権課題について、テーマを決めて話し合う、そして共有し合う「語りの場」です。8～9人ほどのグループに分かれて語り合います。川越中学校からは毎年2年生を対象としてフォーラムに参加をしています。今年度は2年

生から4名の希望者の参加で菰野町庁舎にて実施しました。Aグループは「LGBTQ」「障がい者差別」を中心に、Bグループは「いじめ」について意見を出し合い、積極的な話し合いが行われました。話し合いは、ほぼ参加した生徒たちで進められていきます。川越中学校からの4名は、一緒にグループの人たちの話にしっかりと耳を傾け、話に共感し、自分のことも語りながら意見交流をしていきました。参加した4名の2年生のみなさんに、「どんな話をしたのか、どのようなことを学んだのか」を自分の言葉でわかりやすく発表してくれました。自分の言葉でしっかりと想いを伝えてくれた4名のみなさん。本当にありがとうございます。各クラスでしっかりと発表を聴いてくれた全校のみなさん、本当にありがとうございます。そして、今回のフォーラムの実行委員で話し合いの中心としてコーディネートをしていただいた小坂先生も本当にありがとうございます。

【 人権フォーラムの4つの目的（4つの場の設定） 】

- ① 中学校の枠を超えた出会いの場（差別を解消していこうとする場）。
- ② 1つの切り口を通して様々な人権問題について真剣に考える場
- ③ 単なる意見発表でなく、討議する場（フォーラムとして）。
- ④ フォーラムで学んだことを還元＜＞するための場（フィードバックとして）。



2年生から参加をしてくれた4名のみなさんの感想から

2年2組 下地 さほ さん



人権フォーラムでは、他校の生徒さんたちと、人権について意見交流をしました。話の内容は「いじめがなぜ起きるのか」「いじめといじりの違い」についてなどのテーマで話をしました。私は、いじめといじりの違い、いじめはなぜ起きるのかをしっかりと深く考えました。「いじめは、人の悪口などということや、いじりは変な「あだ名」をつけたりからかったりすることをいうのかな」と思いました。

他校の生徒さんも私と同じ意見でした。からかっている友だちは何とも思っていないけど、されている側の子は嫌だって思っているのかもしれない。友だちにとってはコミュニケーションと思っ

ているのかもしれませんが、されている側はコミュニケーションではなく、本当に嫌な気持ちになるかもしれません。相手にとっては、いじめとしてとらえることもあります。グループでの分散会を通して学んだことは、絶対いじめはいけないということ。いじめによって相手が傷ついたり、精神的な苦痛を感じてしまい、死にいたるのだと考えました。絶対いじめはダメだと思いました。今、学校生活の中で、私が意識していることは、いじめをしている人がいたら注意をする。自分ができることを、今しようと思います。これからもずっと、様々なことを意識しながら学校生活を送りたいと思います。

2年2組 柴原 由奈 さん



私が人権フォーラムに参加することが決まったとき、ふだんの授業以外では人権のことについて、深く考えることがなかったので、知識を深めることができる良い機会だと思いました。

この分散会には三重郡から4つの中学校が集まって、それぞれ自分たちの意見を出し合ったりして交流を深めました。他校の子たちと打ち解けるために、まずはじめに自己紹介をしたり、ちょっとしたクイズをみんなで一緒に解いたりしながら仲を深めてから話し合いを行いました。

私は主に「性別のこと」について、「障がいを持っている人」のことについて話をしました。

その話し合いの中で、印象に残っていることがあります。それは、女子が男子のようにズボンをはくことには、みんな何も言わなくなったが、男子がスカートをはくことにはためらいがある、

という意見です。そして、このためらいをなくすために相談に乗って勇気づければいいという意見が出ました。一度は納得しましたが、ある子が、「そもそも勇気を出さないといけないのはダメなのではないか」という意見を出してくれました。何も悪いことをしていないし、するつもりもないのに「なぜ勇気を出さないといけないのか」、それは、「まわりの雰囲気そうさせているのではないか」ということです。このことに私はすごく考えさせられました。その雰囲気を出すことは、すぐにはできないし難しいことかもしれません。しかし、みんなが理解していれば、自然とつくり出せるのではないかと学びました。他にもたくさん話し合をし、多くのことを学びました。この話し合いを活かし、私は日頃からちょっとした発言に気をつけて、少しでも相談しやすいような環境づくりをしていきたいと思います。

2年2組 櫻井 風香 さん



私は人権フォーラムでいじめについてのテーマで話し合う分散会に参加しました。私は人権フォーラムであった5つのことを話します。まず1つ目は、他の中学校の子たちとどう打ち解けていったかです。私たちのグループは先生たちが用意してくれたレクリエーションを通じて自己紹介をしたり、フォーラムが始まる前や休憩時間を利用して、他の中学校の子が話しかけてくれたりして上手に馴染んでいくことができました。2つ目は話し合いのテーマについてです。テーマは「いじめ」を中心に4つありましたが、中でも特に印象に残った2つのテーマについて話します。1つのテーマは「友だちになったきっかけ」です。私は中学1年生の時に最初の席でたまたま落ちていたプリントを拾ったのがきっかけとなり、席の前後で話すようになり友だちになったという話をしました。2つ目は「いじめといじりの違い」です。話し合の中では、「相手がいじめだと思ったらいじめ」だという意見や暴力をしたらいじめだという意見もありました。3つ目は、「今日の話し合いの中でどんな話が印象に残っているか」です。

私は、1つには、「毎日あいさつを続けていたら友だちになった」という意見です。私はこの話を聞いて、あいさつを続けるだけで友だちができると思っていなかったで、あいさつをすることで友だちができることってすごいなと思い印象に残っています。2つには、「いじめとして受け止める範囲は人によって違う」ということです。例えば、少し無視をされたことでいじめだと思う人があれば、殴られても、いじめじゃないと思う人もいるかもしれないという話を聞いてなるほどと思ったので印象に残っています。4つ目は、「分散会を通して学んだこと」です。私は分散会に参加して2つのことを学びました。1つは、「一人ひとりの違い」です。人は一人ひとり考え方や感じ方も性格もぜんぜん違うから、その違いを認めてあげる大切さを学びました。2つには、「いじめは、どんな理由があってもやってはいけない」ということです。いじめの加害者は、以前に被害者にひどいことをされていても、いじめをしていいという理由にはならないからです。

最後に、人権フォーラムに参加してから学校生活で意識していることは、自分は悪口を言わないし言っている人がいたら一緒にやってのっかるのではなく、止めるということです。私に今できることを考えたときに、自分だけでもいじめの被害者になっている子の味方でいてあげようと思ったからです。自分が完全に悪口を言わないようになれば、周りも止めることができるんじゃないかと思ったので、私はこのことを意識しています。

2年1組 伊藤 瑞姫 さん



私は人権フォーラムのAグループに参加しました。私たちの他に朝日中・菰野中・八風中の4校で話し合いを行いました。私は人権フォーラムに参加して、人権に対する新しい考え方を知ることができました。まず、「LGBTQ」について話し合いました。「LGBTQ」は気づいていなくても身近にあり得ることで、それが原因でいじめや差別が起こってしまう子どももあると分かりました。「性別が違う」とかでいじめなどが起こってしまうのは、とてもおかしいことです。他にも性別に関することで話し合いの中で出たのが、男の子と一緒にいるだけで男好き呼ばわれされたり、逆に女好き呼ばわれされたりするということです。これらは、うそ・本当関係なく言われた人は非常に不愉快な気持ちになってしまいます。だから一人ひとりが「それを受け入れる」ことが大切です。他には、「人は人数の多いほうにつられてしまう」ということです。

多数派と少数派だとやはり、多数派にいつてもいまいがちです。その意見には私もものすごく共感しました。そして、「いじめ」についてです。「いじめ」はいじめられている側にもいじめてしまっている側にも、寄り添うべきだとも思います。「犯人さがし」をするのではなく、どちら側にも平等に向き合っていくことが適切な対応だと思います。

この人権フォーラムを通して私は、人権に対する見方・考え方が少し変わりました。まだまだ社会では、人権に関する問題が山ほどあります。今回話し合ったことも、その一部です。一人ひとりが意識していくべきことですが、まずは、私たちからと思い、学校生活の中では「平等に」というのを意識しながら生活をしています。2学期には人権学習も行い、この人権フォーラムに参加したことでより人権に対する考えが深まったと思うので、人権フォーラムで学んだことを忘れずに、今後の生活にも活かして、周りにも反映していきたいと思っています。